

第29回 全国街路事業コンクール

優 秀 賞

表彰事業名：木古内都市計画道路3・4・5号駅前通整備事業

表彰対象者：北海道 渡島総合振興局 函館建設管理部

事業概要

本事業は、平成 28 年 3 月の北海道新幹線開業により、北海道最南端の新幹線駅、北海道最初の新幹線発着駅となった JR 木古内駅と木古内町中心市街地とを結ぶ駅前通に、歩道の拡幅及び駅前広場の整備、無電柱化を行うものである。

当事業区間は、歩道幅員が狭小でバリアフリー化されておらず、既存駅前広場も新幹線開業に伴い増加する観光バス等を円滑にさばきうるスペース、施設を有していなかった。

本事業によって、歩道の拡幅や電線類の地中化、駅前広場など、北海道の新たな玄関口につながるメインストリートとして整備を行った事により、道路利用者の増加が図られ、また地元商店街や木古内町が主催するイベントに活用されるなど町民から親しまれるシンボリックな街路となった。

○事業延長：220m

○幅員：22m(2車線)

○事業費：約18億円

○事業期間：平成22年～平成27年度

表彰理由

本事業により、歩道の広幅員化や無電柱化、バリアフリー等が実現したことで、駅前通の歩きやすさが向上し、北海道新幹線の新たな玄関口に相応しいメインストリートとして、中心市街地の活性化に寄与したことが高く評価された。

また本事業前は、歩道幅員が狭小かつ凹凸もあり、冬期の豪雪時には歩行者が一部車道を歩くなど危険な状況にあったが、ゆとりある歩道の整備により、安全な歩道空間が確保されたことも評価された。

